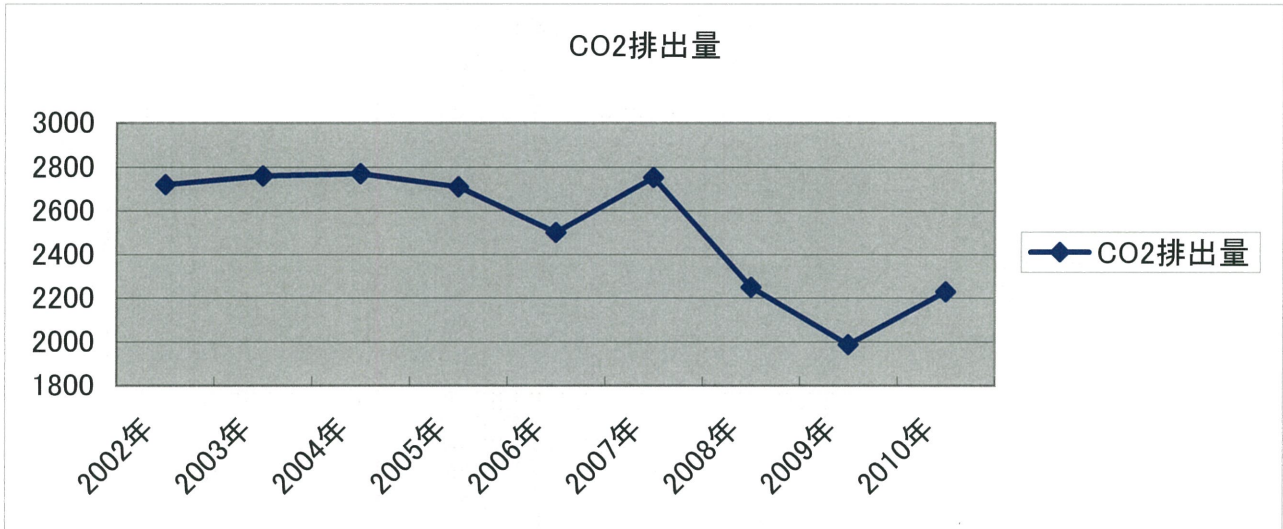


●CO<sub>2</sub>排出量の推移

CO<sub>2</sub>排出量の観点で解析したところ、2007年以降の3年間にて斬減している結果となりました。低CO<sub>2</sub>へのエネルギー化の転換と選択も有効な環境対策となると考えられます。10年度は生産量の増加から08年と同水準といった結果となり今後は代替エネルギーに置き換える等継続的改善を進めていきます。



2. 産業廃棄物の削減

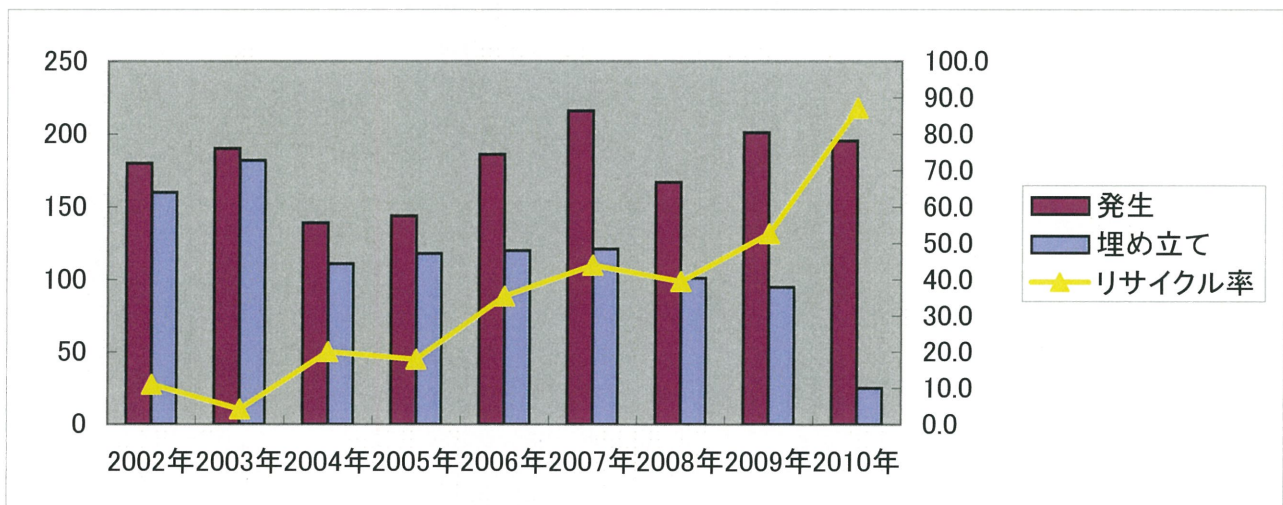
①方針及び目標

地球環境・地域環境保全に基づく資源利用の効率化を事業の柱とし、廃棄量削減とともにリサイクル化の課題について重点的に取り組んでおります。3M(ムリ、ムダ、ムラ)の観点より工程内ロス削減、作業方法の改善等について全従業員が提案を行い、良い提案を積極的に採用し継続的改善に努めております。

産業廃棄物はゼロエミッション化の取り組みを重視、2015年に埋立処分量を2007年度発生量実績数値の0.5%以下とする挑戦的な目標を定めました。

②活動実績と成果

当社製品であるゴムコンパウンドの廃棄量削減について重点的に取り組んでいます。産業廃棄物(埋立て量)の削減についてはゼロエミッションを目標として再利用が困難とされた一部ゴム屑類については中間処理技術を持った業者の探索や分別作業の徹底を行い2010年度には、産業廃棄物のリサイクル率を87%まで上げる事が出来ました。2011年度には、完全リサイクル化を目指して活動する計画です。



### 3. 環境負荷原料の代替促進

環境負荷の低減としてP R T R対象物質の代替促進と使用量管理を図り、第一種指定化学物質の日常管理を行ない、排出量及び移動量は経済産業大臣へ年次報告を行っております。

基本的に取り扱いについては顧客からの材料指定に基づくものであり、今後も継続的に監視を続けていきます。

#### P R T R対象物質の推移

|           | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 | 2007年 | 2008年 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 対象物質数(品種) | 5     | 7     | 6     | 6     | 6     | 6     | 5     |
| 使用量(トン)   | 340   | 262   | 214   | 161   | 164   | 171   | 90    |

| 2009年 | 2010年 |
|-------|-------|
| 5     | 5     |
| 194   | 148   |

## IV. 地域との共生

1. 地域美化への参加は、年度行事計画に展開し継続した活動を行なっております。



2. 災害時の想定訓練、消火訓練、緊急時呼出し訓練を定期的に行い不測の事態にも備えております。



3. 地域自治会への協力

地元自治会の要請に基づき、『こども110番の家』への協力を実施しました。通学途中における小学生たちの『おはようございます』の明るい挨拶が地域との繋がりの第一歩と考えています。



#### 4. 大津市民駅伝大会参加

市民駅伝大会が2月6日に田上公園グラウンドをスタート地点として行われました。この大会の参加人員は、約700名程度で当社からは、精鋭5名が参加しました。大津市体育協会からの要請に基づく中継点として場内設備の貸与と協力と共に行事への参加により地域貢献と住民とのコミュニケーションが図れた事を喜びとしています。



#### V. 環境関連法規の遵守

当社の仕組みとして事業活動に関連する法規を定期的に確認し、法規と実態の整合性確認を実施しております。  
法規と実態の整合性確認により環境関連に留まらず労働安全衛生、品質等、あらゆる事への継続的改善へつなげるマネジメントシステムのもと日々、遵法に関する活動を行っています。